

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 10 日

評価対象事業		評価者	商工課長	伊藤 元敦
市民-19	実施事業	勤労者福祉支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 商工課(産業振興課) 関連課
総合計画上の位置付け	分野	勤労者福祉	施策の方針	働く環境の充実

1 事業の目的

対象	勤労者
意図	湘南勤労者福祉サービスセンターの活動を支援するため。
効果	勤労者の福利厚生の充実

2 平成29年度に実施した事業の概要

・中小企業勤労者の福利厚生の上昇を目的として事業を行う湘南勤労者福祉サービスセンターへ負担金を交付した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	24,450	23,656	23,656	当初予算(千円)	22,598		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	24,450	23,656	23,656	一般財源	22,598		
	人員配置数	0.4	0.2	0.2	人員配置数	0.2		
事業経費運営	人件費(千円)	3,046	1,546	1,546	人件費(千円)	1,618		
	総事業費(千円)	27,496	25,202	25,202	総事業費(千円)	24,216		
	市民1人当りの経費(円)	155	143	143	市民1人当りの経費(円)	137		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-負担未導入 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 事業へ統合
----------	--	--	-----------------

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 湘南勤労者福祉サービスセンターの事業費(人件費)のほとんどを占める負担金について、藤沢市、茅ヶ崎市とともに経費節減に向けた取組みを湘南勤労者福祉サービスセンターへ求め、市の負担金支出の節減に向けて努める。
----------	---	--

総評(評価に対する考え方、根拠等)	中小企業従業員の福利厚生の充実を図るため、藤沢市、茅ヶ崎市とともに湘南勤労者福祉サービスセンターと協定を締結し、広域化を継続して安定した会員数を確保することにより、湘南勤労者福祉サービスセンターの安定した運営の持続を図る。
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・湘南勤労者福祉サービスセンターが安定した運営が持続できるよう、会員の増加を目指した取り組みについて、計画的な会員加入促進事業の検討が必要であった。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	・新規事業「スタンプラリー事業」の開始や湘南勤労者福祉サービスセンターの制度普及啓発事業として「既存会員へのニーズ調査」により会員増加を図る方策を検討した。	
未解決の課題、新たな課題とその理由	・鎌倉市の会員獲得目標値(3000人)は達成したが、安定した運営の継続を目途とし会員獲得の努力を継続する。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	勤労者福祉サービスセンター事業の実施の有無								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	中小企業従業員の福利厚生の実現に貢献している勤労者福祉サービスセンター事業については、広く県内各市町が取り組んでいるところである。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	湘南勤労者福祉サービスセンターの会員数(鎌倉市内事業所分)					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
中小企業従業員の福利厚生の実現に資するため。	目標値	2,800	2,900	3,000	3,000	3,000	3,000			
	実績値	2,634	2,758	2,775	3,006					
	達成率	94.1%	95.1%	92.5%	100.2%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	市内事業所の大幅な増加は見られないため、会員数の顕著な増加は望めないが、引き続き会員増加を目指した促進事業に支援が必要である。
-----------------------	---